

## 学校でお正月前の儀式

カンボジアのお正月は1年で一番暑い4月です。今年は4月14日から16日だが、田舎へ帰る人が多いので大抵1週間は仕事を休みます。学校の休みは去年は2週間だったが、今年はお正月が週の後半でその前は乗合のマイクロバスの運賃が高騰するので、地方へ帰る学生の要望を入れ1週間前倒しで3週間になった。

前期の試験が終わった4月4日の日曜日、朝早くから学生、教職員、家族が集まり、お坊さんを迎えて宗教儀式が始まった。お坊さんの数は54人と行事案内の掲示板に書いてあった。写真で左手奥が偉いお坊さんです。お経が一通り終わると、供養が始まります。皿に盛ったご飯を手に持ち、お坊さん1人1人の鉢にスプーンで入れていきます。ご飯を入れようとするとお坊さんが蓋を開けてくれます。単純作業ですが、50人以上のお坊さんと向き合うと、自然と心が洗われます。ご飯の他に、小額紙幣、インスタントラーメン、ミネラルウォーターなどを喜捨する人もいます。お坊さんの人数分を用意して来るのでかなりの量です。学生の中には家から鍋に入れたご飯を持ってきた人もいました。全員が終わるのに1時間半位掛かり、お坊さんはお寺へ帰って行きました。

その後、男子は自転車の遅乗り競争(遅い方が勝ちだが、地面に足を着いたら失格)、女子はスイカ割りならぬ壺割りのアトラクションがあった。普段学生の駐輪場になっている場所に10人掛けのテーブルが90卓、全部で900人分の宴席が設けられ、お昼の宴会が始まる。結婚式の宴会と同じように、業者が会場の設営、料理作り、配膳など全部やっていた。費用は学校負担だが、学生からは5000リエル(100円)の参加費を取ったそうだ。多くの学生(750人位)が参加し、ダンスパーティーが午後3時過ぎまで続いた。



校舎の前でお正月の儀式が始まる。



ご飯は鉢に、お金は布袋に、食料品は大きなビニール袋に入れる。



目隠しをして壺を割るアトラクション。壺の中には白い粉が入っている。



奥ではキーボード演奏に合わせ学生達がダンスを踊っている。

## 1年間過ごして感じたカンボジアの変化

カンボジアは今経済成長期にあり、私がプノンペンへ来てからの1年間でも変化を実感できる。家の近くのレストランは「流行らない店が潰れ新しい店に変わる」と入れ替わりが激しいが1年前と比べ外食代が10%位余分に掛かるようになった。1年前には世界経済不況の影響で中断していたビル建設が復活し、プノンペンのあちこちで建設中のビルが目立つ。カンボジアの第2次産業の中心である縫製業も去年は生産が落ち込んでいたが工場の新増設が進み回復しつつある。プノンペン近郊の縫製工場と国際貿易港であるシアヌークビルを結ぶ国道4号線はコンテナトラックの往来が多い。

私の学校の工業系コースの学生数は1年前の1500人から2000人へと増えた。内訳を見ると高校は減少し大学と夜間(大学)が大幅に増えている。カンボジアの工業大学は私の学校を含め数校しかないので、絶対数は少ないが技術者を目指す学生が増えている。

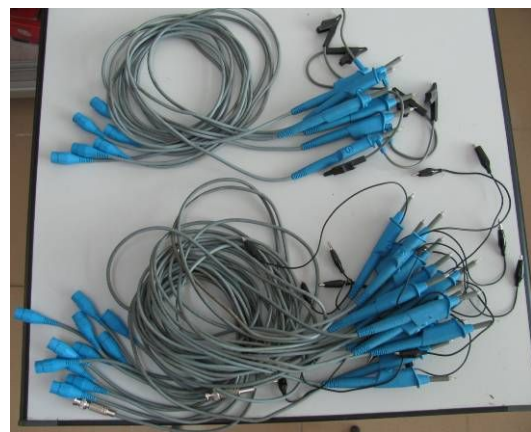
工業系の学生数 2009-2010年度前期

	高校	短大	大学	夜間	合計	前年比
電気	54	188	337	381	960	143%
電子	33	89	148	27	297	125%
土木	28	134	393	178	733	129%
情報		28			28	←新設
合計	115	439	878	586	2018	137%
前年比	92%	122%	145%	151%	137%	

## ボランティアとして目指すもの：ちょっとした手助けをする

若いB先生がオッシロスコープで波形観測をしたいが、プローブ(測定用のケーブル)が壊れていると言ってきた。調べてみると20本の内正常なものは6本で、残りは長年の使用でケーブルがショートや断線をしていた。JICAに頼んで新品を買って貰うことは出来るが手続きに時間が掛かる。また、お金で解決するのなら私でなくても出来る。そこで、私が修理することにした。分解してみるとケーブルが特殊で専用工具が無いと取付が出来ない。数日間いろいろな方法を試し、最後に裁縫の糸を使うことを思いついた。細かい作業で修理に3日ほど掛かったが完成した。

プローブの修理はハイテクでも何でもないちょっとしたことだが、学生に新しい実験を教えようとしている先生を挫折させたくなかった。何かを与えるのではなく、彼らがやろうとしていることにちょっと手を貸す、カンボジアではこのような活動が出来る。将来のカンボジアの工業化のために新しい技術も教えたい。しかし、こちらから提示するのではなく、日々の先生方との会話の中で次にやりたいこと、興味のあることを聞き、その仕事がやり易くなるような支援を今後も続けて行きたい。



上6本は正常なプローブ、下は修理したもの。



左:裁縫道具。右:上は良品。下はケーブルの不良箇所を切断し端を糸で固定したもの。